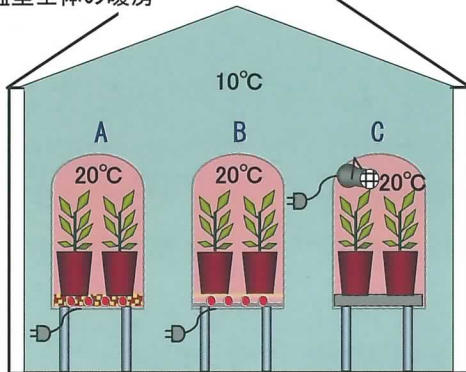
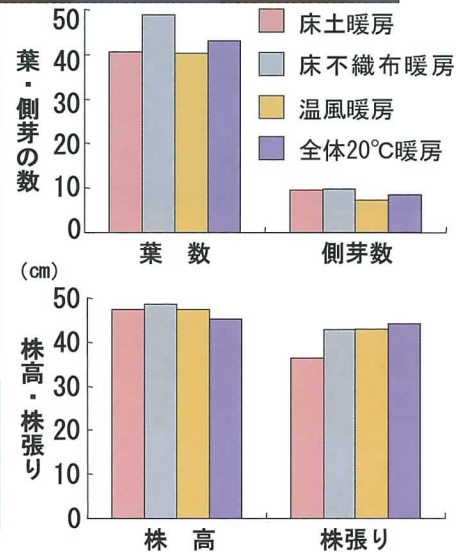


## チャンバー暖房で石油価格高騰に挑戦 — 観葉植物の省エネ栽培 —



チャンバー暖房の方法による省エネのイメージ

- A 床土暖房  
ベンチに土を盛り電熱線で床土を暖房
- B 床不織布暖房  
ベンチに断熱材と電熱線を敷きその上を不織布で覆う
- C 温風暖房  
ベンチに断熱材を敷き温風機で暖房



重油価格の高騰により、観葉植物の冬季の栽培について、暖房の効率化が求められています。そこで、ディフェンバキアを用いて、ベンチ上でビニルトンネル被覆（チャンバー）を行い、暖房容積を小さくする3種類（上図のA、B、C）の省エネ暖房を検討しました。その結果、温室は10℃にして、チャ

ンバー内だけを20℃に暖房すれば、温室全体を20℃にする全体暖房と同等の葉数、側芽数、株高、株張りが得られることが分かりました。チャンバー暖房の中でも、特に、ベンチを暖める方法（図のAとB）は光熱費を全体暖房に比べ50%削減でき、ボリューム感ある草姿が得られました。（園芸研究部）